



2018年度 日本リトルシニア 第47回関西連盟中国支部 春季大会 (オーアンドオー杯)

大会要綱

主催	一般財団法人 日本リトルシニア中学硬式野球協会 関西連盟中国支部
協賛	株式会社オーアンド・オー 株式会社ハークスレイ (ほっかほっか亭中国各店舗)
期日	平成30年2月17日(土) ~ 平成30年3月17日(土)
場所	しまなみ球場、福山市民球場、山口きららドームスタジアム、ほか西部・東部各球場
競技方法	関西連盟大会規定を採用する。(一部、大会特別規定を採用) トーナメント戦(三位決定戦を行う)
大会副賞	【シード権】 本大会の上位4チームは日本選手権中国大会のシード権を獲得する。 なお、入賞順位によりシード枠番号は異なる。 【大会出場権】 優勝：林和男旗全国国際大会(北海道)：1チーム ベスト4：東アジア国際大会(宮崎県)：4チーム ※優勝チーム含む
開会式	期：平成30年2月17日(土)：9:00(開門7:00~ 受付：7:15~) 於：しまなみ球場
閉会式	期： 平成30年3月17日(土) ：決勝戦終了後(14:00予定) 於： 呉市総合スポーツセンター野球場(予備日：3/18(日)：千代田球場)
参加チーム	日本リトルシニア関西連盟 中国支部加盟リーグ：19チーム

抽選会	平成30年1月28日(日) ホテルセンチュリー21 広島
参加費	大会規定額を納入(期日までに中国支部の口座に振込)
試合球	エスエスケイ (シニアリーグ公認球) 試合ごとに4球
審判員	<ul style="list-style-type: none"> 一回戦~準々決勝：本部審判員2名、父兄審判員2名(各チームから1名派遣) ※但し、父兄審判員については、審判部が発行する審判カード所持者に限る。 準決勝~決勝戦(三位決定戦)：本部審判員4名(各チームからの派遣なし)
審判弁当	派遣人数分支給(各チーム：1日1個まで)
参加要件	<ol style="list-style-type: none"> 本大会は、日本リトルシニア野球協会が発行する選手・指導者カード(仮カード含む)の所持者のみ、ベンチ入りを許可する。(但し、スコアラー1名は除く) 専用球場を保有するチームは、当該試合の有無に関わらず、本大会の試合会場として協力できること。 本大会に参加する選手(指導者含む)ならびにチーム関係者は、全ての試合において大会指定弁当(@600円)を注文すること。



競技要項 (大会特別規定)

- ベンチは若番が一塁側。ロージンは後攻チーム、ボールボーイは両チーム2名とする。(ボールボーイは原則ベンチ入り選手とし、アップシューズを着用)
- 今大会の父兄審判員は一塁と三塁の塁審を担当する。**なお、担当する試合順は支部取り決めどおりとする。
- 各球場のグラウンドルールは、試合開始前に各会場の責任審判員により説明を行う。
- 試合は7回戦とし、5回をもって試合成立とする。(5回までは2時間超えても試合を行う)**
なお、試合成立後の延長戦は行わず、即タイブレイク(最大3回：1アウト満塁)を行い、なお同点の場合は最終出場メンバー(18名)による抽選にて勝敗を決定する。
- 5回以降7点差および4回以降10点差をもってコールドゲームとする。(但し決勝戦は除く)**
- メンバー交換は前試合3回終了後、**大会本部が指定する場所にて、事務局長・監督・選手が集合し、所定のメンバー表(5部)を提出し、担当審判員並びに本部役員立ち会いのもと、**ベンチ入りメンバーを照合のうえ、先攻後攻を決定する。**
- 試合前のシートノックは7分間とし、ノック時のボールボーイは必ずヘルメットを着用する。
なお、天候によってはサイドノックに変更する場合もある。(原則、各補助員は登録選手に限る)
- 原則、試合前のアップはフィールド内を使用しないこと。但し、**外野フィールドにおいてはアップシューズ着用に関り、アップやキャッチボールを認める。**(ノックやトスバッティングは禁止)
- 次試合チームの**先発バッテリー1組に限り、4回終了以降、**ブルペンに入って投球練習を行うことが出来る。(但し、ブルペン入場は、試合進行を妨げないよう細心の注意を払うこと)
- ブルペン捕手は、スタンディングの場合であっても必ず防具を着用(特にキャッチ面)**し、捕手の安全を守る保護選手を1名帯同させること。(保護選手も必ずヘルメットを着用すること)

その他の注意事項

- 各チームは、**会場到着後、速やかに大会運営本部が指定する受付手続き**を行うこと。
- 各チームは、**当日の試合が全て終了し、会場を退出する際は、大会運営本部が指定する退場手続き**を行い、「次回指示書」を受け取ること。
- 審判員は第1試合の試合開始40分前までに待機し、**第2試合以降は、前試合3回終了前までに必ず審判控室にて待機**する。(審判服は支部指定)
- 各チームの放送係は、第1試合の試合開始40分前までに必ず名札を付けて待機しておくこと。
- 審判へのお茶出し及び次試合のメンバー交換を促すアナウンスは行わない。
- 試合成績表の記録者は、名札を付け**予備球を持って記録室に入室**のこと。
- 各チームの応援団はメガホンを叩いての応援を禁止する。(鳴り物応援禁止)